

2020年度（令和2年度） 直 鞍 次 世 代 産 業 研 究 会 総 会

（議案）

- ・ 第1号議案：2019年度（令和元年度）事業報告
- ・ 第2号議案：2019年度（令和元年度）決算報告
- ・ 第3号議案：2020年度（令和2年度）事業計画（案）
- ・ 第4号議案：2020年度（令和2年度）予算（案）

(1)月例役員会及び例会の開催

○各月第1木曜日を定例予定日とし、役員会を開催した。

－役員会議事の概要をホームページに掲載し情報発信した。

－後半には新規事業（ソーシャルビジネスへの挑戦）について集中協議した。

○各月第3火曜日を例会予定日とし、市場研究、事業化、人材育成の各事業項目に沿ったセミナー、視察会等を開催した。例会の概要をホームページに掲載し情報発信した。

開催期日	テ　　マ	概　　要
5月21日	平成31年度総会	役員改選、規約改正、事業実績・決算及び事業計画・予算の承認
6月22日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室初回実施、夢プロジェクトテーマ協議
7月20日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2回目実施
7月25日	次世代市場研究関連	県の先端研究開発支援施設（県生物食品研究所）の視察
8月25日	市産業振興ビジョン支援	わくわ〜く'19の支援、キッズプログラミング教室第3回目発表会
9月20日	次世代人材育成関連	夢プロジェクト作品審査会
10月17日	次世代事業化関連	合同セミナー開催（東京都　ビジネスチャンスナビ2020）
11月15日	次世代事業化関連	丸福水産（株）若松アワビ養殖施設、北九州学術研究都市視察
1月26日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2期開始
1月29日	合同新年会	北九州市港湾物流の紹介、合同交流会
2月2日	次世代人材育成関連	キッズプログラミング教室第2回目実施
2月18日	次世代事業化関連	合同視察会（デンソー九州、県機械電子研究所）実施

(2)平成31年度総会の開催

開催日:5月21日(火) 場所:エクセレントガーデン迎賓館

- 統一地方選挙の関係で一か月遅れて開催
- 役員改選を行い部会長を含めた新役員体制を承認
- 規約を改正し、会費を半額にする案を承認
- 事業実績・決算及び事業計画案、予算案を承認

- 直轄次世代産業研究会総会
- 一、開会のあいさつ(会長)
 - 一、議長選出
 - 一、第一号議案 2018年度事業報告
 - 一、第二号議案 2018年度決算報告
 - 一、第三号議案 2019年度事業計画(案)
 - 一、第四号議案 2019年度予算(案)
 - 一、閉会の挨拶
- その他報告
- 交流会
- 直轄自動車産業研究会総会
- 一、開会のあいさつ(会長)
 - 一、議長選出
 - 一、第一号議案 2018年度事業報告
 - 一、第二号議案 2018年度決算報告
 - 一、第三号議案 役員改選
 - 一、第四号議案 運営規定の改正(第七条会計の改正)報告
 - 一、第五号議案 2019年度事業計画(案)
 - 一、第六号議案 2019年度予算(案)
 - 一、閉会の挨拶

式次第



(3) 取り組んだ主な事業

① 次世代に活躍する人材育成支援

①-1 (新規)「次世代キッズプログラミング教室」の開催

直轄地域の小学校高学年生とその保護者を対象に、今後益々重要となるIT技術、コンピュータ技術の基礎教室を2期に分けて実施

次世代キッズプログラミング教室 参加者募集!! ～みんなはまちのプログラマー～



直轄次世代産業研究会では地域貢献活動の一環として、次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取り組みを行っています。これまで実施してきたものづくりアイデア募集の「夢プロジェクト」の他に、新たに、これからの子供たちに必要とされるITの力を養うための支援事業を行います。この取組を通じて、コンピュータがどのように働いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

- ※写真のmicro:BITを使って初歩的なプログラムから体験していきます。
- ※サポーターとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんが協力してくれます。
- ※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直轄地域の小学校4・5・6年生とその保護者

【募集期間】2019年6月7日（金）締切り

【募集条件】・保護者が送り迎えできること。

- ・インターネットができるパソコン（Windows、Mac）又はiPad等のタブレット或いはスマートフォンを持参できること。

【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）

【実施期日】（期日は変更になる可能性もあります。）

第1回目：6月22日（土）10:00～12:00

第2回目：7月20日（土）10:00～12:00

第3回目：8月25日（日）10:00～12:00（のおがたわのく内）

【実施会場】直轄産業振興センター（ADOX福岡 別館）

直方市榑木849-1 ホームページ: <https://adox.jp>

【参加費用】1,000円/一組（micro:BITを1台支給します）

【お問合せ先】直轄産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：藤元）

TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700

E-mail: ts2@adox-fukuoka.jp HP: <https://adox.jp>

【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて

主催 直轄次世代産業研究会

共催 直轄産業振興センター、直方市

後援 直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

次世代キッズプログラミング教室 ～みんなはまちのプログラマー～ (第2期) 参加者募集!!



直轄次世代産業研究会では、地域貢献活動の一環として今年の夏休みに実施した「次世代キッズプログラミング教室」の第2期を実施いたします。次世代の地域を担う子供たちの創造力を培う取組として、これからの子供たちに必要とされるITの力を養うための試みです。この事業を通じて、コンピュータが何故、どのように働いているかの基礎知識を学習し、ITに興味を持ち、より高度な知識の習得、自己学習を促すきっかけになることを期待しています。

- ※写真のmicro:BITを使って初歩的なプログラムから体験していきます。
- ※サポーターとして鞍手高校のSSH部（科学部）の皆さんがお手伝いしてくれます。
- ※教室のないときの疑問、質問はホームページやFacebookページで問い合わせに回答します。

【募集対象】直轄地域の小学校4・5・6年生とその保護者

【応募期間】2020年1月10日（金）締切り

【応募条件】・保護者が同伴できること。

- ・インターネットができるパソコン（Windows又はMac）を持参できること。（会場はWiFi環境を備えています）
- ・3回とも参加可能なこと。

【募集定員】20組（応募多数の場合は抽選になります）

【実施期日】（期日は変更になる可能性もあります。）

第1回目：1月26日（日）10:00～12:00

第2回目：2月 2日（日）10:00～12:00

第3回目：2月24日（月・休日）10:00～12:00

【実施会場】直轄産業振興センター（ADOX福岡 別館）

直方市榑木849-1 ホームページ: <https://adox.jp>

【参加費用】1,000円/一組（micro:BITを1台支給します）

【お問合せ先】直轄産業振興センター（ADOX福岡別館）（担当：藤元）

TEL:0949-22-0575 FAX:0949-22-2700

E-mail: kids-pro@adox.jp <https://adox.jp/kids-programming>

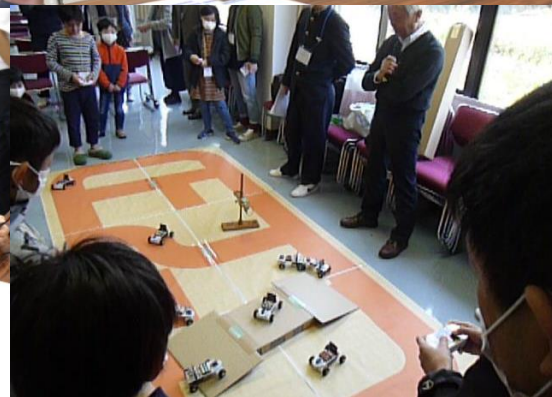
【申込み方法】FAX又はホームページ申込みフォームかE-mailにて

主催 直轄次世代産業研究会
共催 直轄産業振興センター、直方市
後援 直方市・宮若市・鞍手町・小竹町各教育委員会

・第1期は主に直方市内から25組50人が参加

・第2期は主に直方市外から17組34人が参加

・鞍手高校SSH部の連携支援も得られ、高校生の地域貢献活動としても役に立った



ITに興味持って キッズプログラミング教室 直方で小学生ら体験

次世代キッズプログラミング教室が22日、直方の直方産業振興センターで始まった。プログラミング教育が来年度から小学校で必修化されるのを控え、早くから子供たちにITに興味を持ってもらおうと直方市立産業振興研究会が主催。8月25日まで3回にわたって初歩的なプログラミングを体験し、最終回には自分たちでプログラミングしたもの発表会がある。

市内と鶴手町の小学4～6年生とその保護者約1組が参加。同研究会の藤永朋巳会長が「教室をきっかけにプログラミングに興味を持ってもらいたい」とあいさつ。参加者は、鶴手高校生のサポートを受けながら、パソコンやタブレットを操作して、ネーミングプレートを作った。

製作は、学校でプログラミングの授業を経験したという直方北小5年、喜永詩（し）は「コンピュータに興味があるので、上手になりたい。母（喜永さん）は「最初はインターネットを利用するが、年々状況が変わり、パソコンを使わないで、何かを動かすのがワクワクしている」と話した。（鶴手町）

鶴手町立産業振興研究会が主催するプログラミング教室の様子

①ー2 「次世代夢プロジェクト」の実施

- ・ 直鞍地域の次世代を担う小中学生を対象に、より暮らしやすく、地域が発展する夢のあるアイディアを募集し、優秀作品を顕彰する事業を継続して展開
- ・ 直鞍地域16校から125点の応募があり、内26作品を顕彰した
- ・ 26作品については、イオンモール直方、直方市役所で展示し一般公開した



次世代夢プロジェクト2019

みんなでまちの未来を作ろう

あなたの
アイディア
大募集!!

きみのアイディアが
カタチになるかも!

みんなのまちや人がずっと
安全・安心で
元気なまちになるような
アイディアを
どれか教えてください

○山や川、海もきれいな
○友達や家族と仲良くな
○元気で活気ある

■募集要項
このチラシのうらがわ、または別紙(大きさや書き方は自由)にて、名前・住所・連絡先を必ず記入してアイディアを書いてください。未来がよくなるためにどのようなことをすれば、何があればどんな仕組みがあれば等をイラストで内容がわかるように書いてください

■応募方法
記入した用紙を各学校・直方市役所に置かれている応募専用ボックスに入れてください
直鞍産業振興センターに郵送、または FAX 0949-22-2700 にも受け付けます

■対象
小学生1年生から中学校3年生まで
締切 令和元年9月6日(金)

■賞状
最優秀作品、入賞作品を表彰します
問い合わせ 直鞍産業振興センター(ADOX福岡)
所在地 直方市大字榎木849-1
電話 0949-22-0575

■主催
直鞍次世代産業研究会
直鞍産業振興センター(ADOX福岡)

■共催
直方市
直方市・宮崎市・鞍手町・小竹町の各教育委員会
直方商工会議所・宮崎商工会議所

I Tに興味持って キッズプログラミング教室 直方で小学生ら体験

次世代キッズプログラミ
ミング教室が、直
方市の直方産業振興
センターで始まった。
プログラミング教育が
来年度から学校で必
修化されるのを控え、
早くから体験したい
と興味を持ってもら
うと直方産業振興
研究会が主催。8月25
日まで3回にわたって
初歩的なプログラミング
を体験し、最終回に



「キッズプログラミング教室」のサポートを務めるアン・デン・ウィン・タンに指導を受ける参加者

は自分たちでプログラ
ミングしたものの発表
会がある。
市内と鶴手町の小学
4、5年生とその保護
者が参加。同研究
会の藤永時巳会長が
「教室をきっかけに
プログラミングに興味
を持ってもらいたい」
とあいさつ。参加者は
教員高生がサポート
をしながら、パソコ
ンやタブレットを操
作して、ネームプレ
ットを作った。【武内雄広】

毎日新聞 2019年6月23日(日曜)朝刊

読売新聞 筑豊版
2019.11.07

中3・星本君が最優秀賞

直方地域 次世代夢プロジェクト



星本一樹君

直方地域の小学生がも
のつくりのアイデアを競う
「次世代夢プロジェクト」

14日に同市役所で展示され
る。
直方、宮若、小竹、鞍手
の4市町の企業などで行
う同研究会と直方産業振興
センターの主催。「安全で
安心して暮らせるまち」や
「住みやすくなる元気なま
ち」のアイデアを募集し、1
25点が寄せられた。
AI信号機は、交通量が
少ない道路で赤信号の時間

が長いことに疑問を持った
のがきっかけで発案した。
道路に交通量を計るセンサ
ーを取り付け、人工知能(A
I)を活用して交通量のテ
ータを分析し、信号機の切
り替えを効率的に行う。
植木中で10月28日に表
彰式が行われ、星本君は「家
族と車で出かけた際にアイ
デアが思い浮かんだ」と話
した。
他の入賞者は次の通り。

- (敬称略)
直方市長賞 吉田環(直方南
小4年)▽直方商工会議所会頭
賞 富永時(直方北小5年)▽
宮若商工会議所会頭賞 宮原美
貴(宮田北小5年)▽直方産業
振興センター長賞 梅田優里愛
(直方西小3年)▽直方ビネ
ス支援センター長賞 榎本結菜
(植木小5年)



⑤会長賞を贈られる星本一樹さん(右)
⑥直方市長賞を贈られる吉田環さん(左)



小中学生の「夢プロジェクト」 会長賞に植木中・星本さん

直方次世代産業研究会 受賞作を決定

直方次世代産業研究会 った「夢プロジェクト」の
(藤永時巳会長)が小中学
生のものづくりへの関心を
高める狙いでアイデアを募
った植木中(直方市)3年の

星本一樹さん15、直方市
長賞には「マイタッパー運
動」を提唱した直方南小4
年の吉田環さん(10)が選ば
れ、それぞれ学校内であつ
た表彰式で、藤永会長、大
塚進弘市長から賞状などを
贈られた。
4回目となる本年度は
「みんなのまわりがすつ
と安全で安心できるの山
や川、海もきれい」など
四つのテーマで夏休み中に
募集し、直方地区2市2町
から125点が寄せられ
た。

星本さんは「効率よく切
り替わる信号機でみんなの
生活が便利になれば」と、
車の通行量に応じて人工知
能(AI)の判断で信号が
操作される仕組みを提案。
吉田さんは自身の駐車場に
プラスチック製の升当容器
が大量に捨てられた経験か
ら、自らの食品保存容器を
持参できる升当店の普及へ
願いを込めた。

そのほかの主要賞の受賞
者は次の通り。(敬称略)
直方商工会議所会頭賞 富
永時(直方北小)▽宮若商工
会議所会頭賞 宮原美貴(宮
田北小)▽直方産業振興セ
ンター長賞 梅田優里愛(直方
西小)▽直方ビネス支援セ
ンター長賞 榎本結菜(植木
小)

西日本新聞 筑豊版
2019.11.11

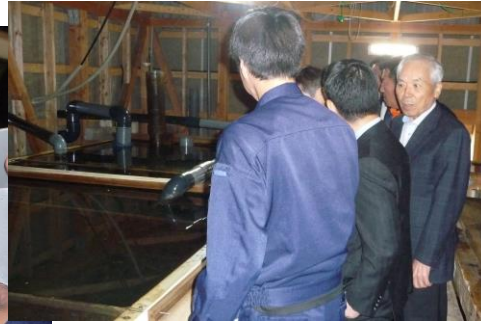
②セミナー等の実施

- ・次世代の市場研究、事業化等をテーマに、主に企業運営・事業発展に資するセミナー等を2回開催した。また、幅広い活動普及を図るため、関連ある内容については広く一般参加も呼び掛けるとともに、自動車産業研究会等とも連携開催を行った。



③先進機関等の視察会を実施

- ・次世代の市場研究、事業化等に資するため、県内先進企業・機関等の取組を研究する視察研修会を自動車産業研究会と共同で3回実施した。



北九州学術研究都市



丸福水産（株）



生物食品研究所



機械電子研究所



デンソー九州



④直方市産業振興ビジョン等の支援

【のおがた“働く”ウィークへの参加・支援】

- (1) “働く”ウィーク実行委員会へ委員として参画
- (2) “働く“ウィーク「わくわーく'19」への参加
 - ①第1期キッズプログラミング教室の最終日（8月25日）の発表会をわくわーく'19のイベントとして位置づけ、広く公開した
 - ②同日開催の鞍手高校SGH部によるビジネスプレゼンテーションの審査委員として参加し講評を行った
 - ③同日、参加者へ向けて「そうめん」の振舞いを実施した

【直鞍ビジネス支援センター(N-biz)との連携】

研究会主催関連事業への岡田センター長の参加
夢プロジェクト表彰に直鞍ビジネス支援センター長賞の授与



⑤ 事業の総括

○令和元年度（平成31年度）は新たな取組として、次世代の人材育成に注力し、「次世代キッズプログラミング教室」に取組んだ。

参加者からの高評価を得たうえで第1期、第2期の2回実施し、合計42組で80名を超える小学生とその保護者にプログラミング、ITの足掛かりを提供できた。

また、鞍手高校との連携もできて今後につながる取組となった。次年度の取組み継続も検討する必要がある。

○夢プロジェクト事業も定着しつつあり、昨年度は直方市外の学校からの応募が増加し、アイデアの質も向上していた。受賞アイデアの中には実用化にトライできるアイデアも散見される。

次年度もテーマを考慮しながら積極的に取り組んでいく必要がある。

○情報発信については、特にホームページの内容を見直し、毎回の役員会、定例会の概要を掲載するようにした。また、フェイスブックによる情報発信も行った。今後も情報発信コミュニケーションのツールとして充実させる必要がある。

<https://adox.jp/business/fiw>

○また、研究会の新たな取組を探るため、新年度に向けての新事業立案の協議を活発に行った。例年に比べ、勉強会・自己啓発的なセミナー開催は少なかったものの、プログラミング教室などの実際の活動への参加、臨時の役員会や例会の開催など、活発な運営ができた。

ただし、参加会員が固定される傾向にあり、参加会員の裾野を広げていく必要がある。

第2号議案

2019年度直鞍次世代産業研究会一般会計決算

収入の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C - B)	
入会金	0	0	0	
正会員会費	804,000	732,000	△ 72,000	34社(9月末退会2社、未納2社)
賛助会員会費	50,000	60,000	10,000	10社(過年度分支払い1社)
雑収入	11	161,508	161,497	預金利息
前年度繰入金	1,576,750	1,576,750	0	
合 計	2,430,761	2,530,258	99,497	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	予算額 (B)	決算額	比較	摘要
		(C)	(C - B)	
総務	460,000	523,461	63,461	総会経費、新年会・情報交換会経費、コピー機・研修室等使用料、郵送費、その他
次世代市場研究費	150,000	158,240	8,240	講演会、視察等
次世代事業化事業費	250,000	218,167	△ 31,833	合同セミナー、企業見学会等
次世代組織人材事業費	450,000	405,772	△ 44,228	キッズプログラミング教室、夢プロジェクト
研究会情報提供事業費	136,000	127,658	△ 8,342	ホームページ維持・更新、商工会議所ニュース掲載料
産業振興費	50,000	834	△ 49,166	働くウィーク関連
視察研修助成金	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	
予備費	934,761	53,790	△ 880,971	Windows10 PC購入
合 計	2,430,761	1,487,922	△ 942,839	
収支差額	0	1,042,336	1,042,336	次期繰り越し

2018年度直轄次世代産業研究会特別会計決算

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金)	2,307,141	2,307,141	0	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	370	196	△174	
合 計	2,307,511	2,307,337	△174	

2. 視察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	予算額 (A)	決算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
視察研修助成費(前年度積立金)	935,831	935,831	0	
視察研修助成費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	135	80	△55	
合 計	935,966	935,911	△55	

監査報告書

直鞍次世代産業研究会の平成31年4月1日から令和2年3月31日までの事業年度に関し、事業の実施及び会計の状況について監査を行ったので下記のとおり報告する。

記

1. 監査期日

令和2年3月17日(火)及び令和2年3月18日(水)

2. 監査場所

直鞍産業振興センター別館内

3. 監査結果

事務局から事業実施の状況及び収支計算書、領収書、預金通帳などに基づく会計処理の状況について説明を受け、監査を行った。

その結果、いずれについても適正に執行、処理されていた。

令和2年3月17日

監査役 梶野 東一



令和2年3月18日

監査役 西村 栄一



以上

第3号議案

2020(令和2)年度 直鞍次世代産業研究会事業計画(案)

1. 基本方針

本研究会は、2019年度に取組んだ事業の成果・反省を踏まえ、次世代を担う人材育成事業や次世代の組織・企業のあり方を研究し、参加企業の発展と地域振興を目的とした調査・研究・事業の実施に取り組む。また、いち早く新事業やニーズへの情報提供、本会の活動の発信を持って地域外企業・団体・自治体とのマッチングも進めていく。次世代に向けての企業活動が迅速かつ円滑に進められるよう自治体・関係所管への提言も行っていく。

2. 実施事業

(1) 次世代市場研究事業

- ・新技術、新サービス等に関する先進事例視察研究、セミナー等の開催

(2) 次世代事業化事業

- ・事業化に資する技術、企業等の視察、セミナー等の開催とともに研究会独自の新規事業に取り組む
 - ・新規事業：ソーシャルビジネスへの取り組み

(3) 次世代組織人材事業

- ・次世代の人材育成に資する取り組みや企業人材の高度化に関する勉強会の実施
 - ・キッズプログラミング教室の実施
 - ・夢プロジェクトの実施

(4) 研究会情報事業

- ・インターネット、情報媒体の活用による情報の積極的発信

(5) 産業振興ビジョン等支援事業

- ・のおがた「はたらくウィーク」への支援

(6) 視察研修助成金事業

【新規事業の計画】 ソーシャルビジネスへの取り組み



持続可能な開発目標とは17のグローバル目標と169のターゲットから成る国連の持続可能な開発目標。2015年9月の国連総会で採択された『我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ』と題する成果文書で示された2030年に向けた具体的行動指針。

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

持続可能な経済と社会の環境を考える

産業革命以降

アダムスミスの自己利益の追求が産業革命以降の技術的創意工夫とともに製品・ブランドを通しての自己アイデンティティの追求への

消費主義と変化 所有するための消費

浪費の為に働き消費を目まぐるしいサイクルで行い
大量生産・大量消費で「使い捨て」は当たり前の
社会システムで欲望を慢性的に喚起させる
マーケティングと実経済

現在とは

未解決な環境問題

慢性的な世界経済の衰退

コミュニティの重要性

ソーシャル・プライベートな情報伝達のインフラ

ハイパー消費での環境問題や資源・生産・社会の
非持続性
ソーシャルネットワーク・IoT等情報交換技術
の発展

これから

コミュニティへの参加欲求

自分一人だけの消費から複数・共同・長期

製品・サービス・時間・空間などを所有すること
から共同・共有する形態やコミュニティ・経済へ
意味ある活動への欲求 規模から範囲の経済

【新規事業の計画】

ソーシャルビジネスへの取り組み

次世代型ビジネスとして

大量・安全・アクセスなICTのインフラの利用
共有資産のコラボ・シェアの流動
域内コミュニティの再構築と循環



空家・空き店舗・余剰社会資本キャパ
IoTでのサービス・ワーク・交換
域内ポイント

第4号議案

2020年度 一般会計予算(案)

収入の部

(単位:円)

勘定科目	2019年度予算 (A)	2019年度決算額	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
入会金	0	0	0	0	
正会員会費	804,000	732,000	756,000	△ 48,000	31社(32名)
賛助会員会費	50,000	60,000	50,000	0	10社
雑収入	11	161,508	200,000	199,989	預金利息、徴収会費を計上
研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
前年度繰入金	1,576,750	1,576,750	1,042,336	△ 534,414	昨年度繰越金
合 計	2,430,761	2,530,258	2,048,336	△ 382,425	

支出の部

(単位:円)

勘定科目	2019年度予算 (A)	2019年度決算額	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
総務	460,000	523,461	450,000	△ 10,000	
次世代市場研究費	150,000	158,240	150,000	0	
次世代事業化事業費	250,000	218,167	350,000	100,000	経費節減を図る。
次世代組織人材事業費	450,000	405,772	240,000	△ 210,000	新規事業分を増額。
研究会情報提供事業費	136,000	127,658	140,000	4,000	キッズプログラミング教室
産業振興費	50,000	834	20,000	△ 30,000	を減額。
視察研修助成金	0	0	0	0	
記念事業費	0	0	0	0	
予備費	934,761	53,790	698,336	△ 236,425	次年度繰越予定
合 計	2,430,761	1,487,922	2,048,336	△ 382,425	
収支差額	0	1,042,336	0	0	

2020年度特別会計予算(案)

1. 記念事業積立金

(単位:円)

勘定科目	2019年度決算額 (A)	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
記念事業費(前年度積立金残高)	2,307,141	2,307,337	196	
記念事業費(当年度積立金)	0	0	0	
預金利息	196	230	34	
合 計	2,307,337	2,307,567	230	

2. 視察研修助成金基金

(単位:円)

勘定科目	2019年度決算額 (A)	2020年度予算額 (B)	増減 (B-A)	摘要
視察研修助成費(前年度積立金)	935,831	935,911	80	
視察研修助成費(当年度積金)	0	0	0	
預金利息	80	93	13	
合 計	935,911	936,004	93	